

## 算数 3

12月号

じゆけんばんごう しめい かいとうようし ただ か  
 受験番号と氏名を解答用紙に正しく書きなさい。  
 こた かいとうようし か  
 答えは解答用紙に書きなさい。



1 次の計算をしなさい。

(1)  $46 \times 8$

(2)  $365 + 246 - 65$

(3)  $531 \div 9$

(4)  $6.8 + 7.9$

(5)  $1 - \frac{5}{8}$

(6)  $\frac{2}{9} + \frac{5}{9}$

2 次の  にあてはまる数を求めなさい。

(1)  $0.6$  時間 =  分

(2)  $20$  分 =  時間

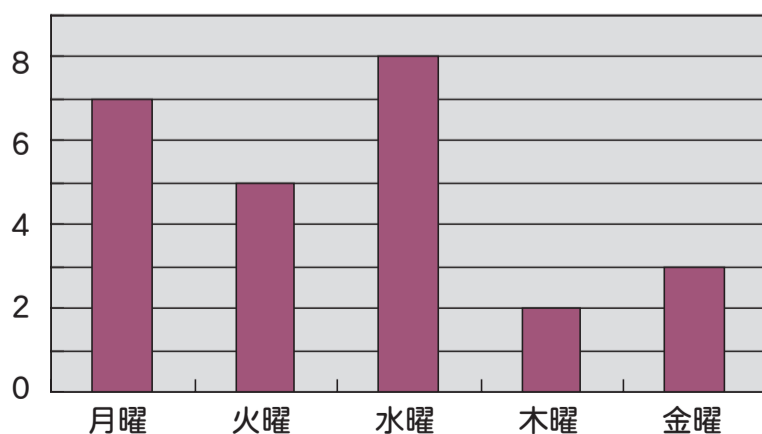
(3)  $\frac{3}{10} \ell =$    $d\ell$

(4)  $6700 \text{ m} + \frac{3}{10} \text{ km} + 0.7 \text{ km} =$    $\text{m}$

3 次の問いに答えなさい。

(1)  $\frac{5}{7} \text{ kg}$ の重さは、 $\frac{1}{7} \text{ kg}$ の重さの何分ですか。(2)  $\frac{2}{5}$ と $\frac{2}{3}$ はどちらの方が大きいですか。(3) ある日やす子さんは1日の $\frac{3}{4}$ の時間家において、残りの時間は外出していたそうです。やす子さんは何時間外出していましたか。(4)  $1 \ell$ の牛乳を9日間に分けて毎日同じ量ずつのみました。4日目までにのんだ牛乳は合計何 $\ell$ でしたか。

(5) 下のグラフは、健君のクラスで、ある週に学校を休んだ人の数を記録したものです。この週の月曜に休んだ人は木曜に休んだ人より何人多いですか。



4

次の表はまさえさんの遠足の日の行動を記録したものです。これをもとにあとの問いに答えなさい。

時刻	行動の記録
午前 6時30分	起きてふとんから出た。今日は楽しい遠足だ。
午前 7時10分	朝食を食べ始めた。ちょうどこの時お父さんが家から会社に向かって出かけた。
午前 7時45分	家を出て学校に向かった。
午前 8時 5分	学校に着いた。クラスで1番だ。
午前 8時30分	予定通りの時刻に、学校をバスで出発した。楽しい遠足の始まりだ。
午前10時20分	バスは、目的地のどんぐり公園についた。予定より25分おくれてとうちゃくだ。
午後 2時40分	楽しかったどんぐり公園をバスは出発。帰りのバスの中では、つかれてねてしまった。
午後 4時15分	バスは学校にとうちゃくした。
午後 4時30分	学校を出て、家に向かった。つかれていて朝より5分多くかかって家に着いた。私ที่บ้านについてから、1.2時間たって、お父さんも帰ってきた。
午後 8時45分	つかれていたもので、いつもより早くふとんに入ってぐっすりねむった。でも、宿題があったから、明日は午前6時に起きなくちゃ。

- (1) まさえさんは、朝は学校まで何分かかりましたか。
- (2) この日、まさえさんがバスに乗っていた時間は行きと帰りで合計何時間何分でしたか。
- (3) この日の夜、予定通り次の日の朝の6時までねていれば、まさえさんは何時間何分ねむることになりますか。
- (4) この日、お父さんは何時何分に家に帰ってきましたか。24時制で答えなさい。

5

右の表は、ある日の明子さんのクラスで行った、漢字テストと計算テストの結果を先生がまとめたものです。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 明子さんのクラスの人数は全部で何人ですか。
- (2) この表では、漢字テストと計算テストの合計が15点から20点の人は全部で何人でしたか。
- (3) 明子さんは自分の答案を見て、先生が漢字テストの採点をまちがえていたことに気がきました。点数をなおすと1点上がることになります。これをもとに表をなおすと、合計点が16点の人数が1人ふえることになるそうです。明子さんの計算テストの結果は何点でしたか。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
1											0
2											0
3			1		2						3
4			2								2
5		1		3		2					6
6					1	2	1	1			5
7				3	2	3	1				9
8					2			1	2		5
9						2			1		3
10								2			2
合計	0	1	3	6	7	9	2	4	3	0	

6

さいころを2つふり、その目を使って、分数を作ることになりました。きまりは次のようになっています。これについて、次の問いに答えなさい。

- ① 2つの目の数がちがうときは、大きい目の数を分母に、小さい目の数を分子にして分数を作ります。たとえば、2と5の目が出れば、 $\frac{2}{5}$ という分数になります。
- ② 2つの目の数が同じときは、分母と分子に同じ数を使って分数を作ります。たとえば3と3が出れば、 $\frac{3}{3}$ となります。

- (1) 1と同じ大きさの分数は何通りつくれますか。
- (2) このようにして作ることができる分数の中で一番小さい分数は何ですか。
- (3) 2つのさいころをふって分数を作りました。この分数をAとします。次にもう1回2つのさいころをふって分数を作ったら、Aより大きい分数Bができました。そして、AとBをたすと1と同じ大きさの分数になりました。また、1回目の2つのさいころの目の数と、2回目の2つのさいころの目の数の合計は、全部で15になりました。このようになる、AとBの分数を1組答えなさい。